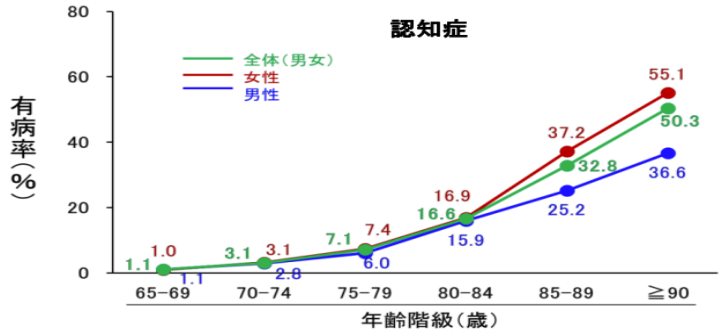
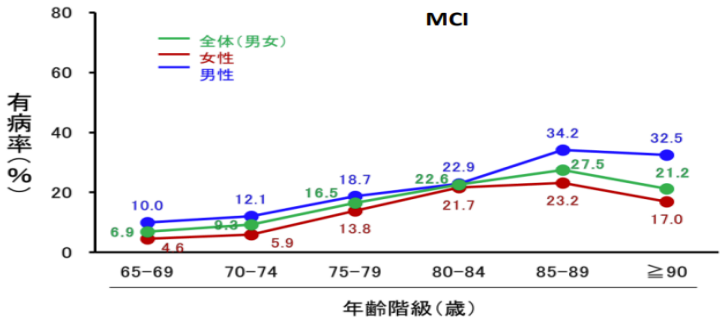
認知症関連についての意見交換

認知症および軽度認知障害（MCI）の高齢者数と有病率の将来推計

年齢階級別の有病率（2022年時点）





高齢者数と有病率の将来推計

年	令和4年（2022）	令和7年（2025）	令和12年（2030）	令和22年（2040）	令和32年（2050）	令和42年（2060）
認知症高齢者数	443.2万人	471.6万人	523.1万人	584.2万人	586.6万人	645.1万人
高齢者における認知症有病率	12.3%	12.9%	14.2%	14.9%	15.1%	17.7%

年	令和4年（2022）	令和7年（2025）	令和12年（2030）	令和22年（2040）	令和32年（2050）	令和42年（2060）
MCI高齢者数	558.5万人	564.3万人	593.1万人	612.8万人	631.2万人	632.2万人
高齢者におけるMCI有病率	15.5%	15.4%	16.0%	15.6%	16.2%	17.4%

資料：「認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究」（令和5年度老人保健事業推進費等補助金　九州大学 二宮利治教授）より厚生労働省にて作成

現状から見える課題

① 若年性認知症の方が過ごせる場所が限られている。
② 市内の認知症疾患医療センターは１箇所のみであり、医療センターの負担が大きい。初回受診となると２箇月程要することもある。
③ 虐待ケースの中には、認知症の診断を受けている人が多い。
④ 認知症の方を取り巻く家族への理解促進に向けた支援が難しい。
⑤ 相談ケースは中等度以上のケースが圧倒的に多い。

意見交換

各委員さんの立場において、認知症施策やケースの対応について課題と考えておられることについて御意見を聴取させていただきたい。また、早期に相談や診断に繋がるためには、どのようなことに取り組めばよいか。

※参考【東近江市における認知症施策について】
・第10期介護保険計画に認知症基本計画を盛り込む予定。
・認知症事業（第９期計画基本方針）

認知症予防の普及・啓発の推進
認知症市民講座、広報やメディアでの啓発、認知症サポーター養成講座、ものわすれ相談室、回想法講座、キャラバンメイト研修会・交流会、図書館連携

共生の地域づくり推進
認知症ケアパス、認知症カフェ、認知症見守りネットワーク事業、チームオレンジ